

- 脳神経外科の紹介
- 3年ぶりに開催したすくすく教室
- 行事報告
- 行事報告
- 市民公開講座を行いました 臨床倫理研修を開催しました
- なごみ皮膚科クリニック紹介
- お知らせ・編集後記

いのちの尊さを重んじ、質の高いやさしい医療を提供します

基本方針

- 1. 医学的根拠に基づいた医療を安全に提供します
- 3. 患者さんの思いを大切にし、敬意と思いやりの心で接します
- 4. 地域の医療機関と連携し、地域医療の向上に努めます
- 5. 教育研修の充実を図り、職員の能力向上と人材育成に努めます
- 2. 適切かつ十分な説明を行い、理解と同意を得た医療を提供します 6. 常に前進・研鑽し、臨床研究を通じて医療水準の向上に努めます
 - 7. 明るく健全な病院運営を行います
 - 8. 職員ひとりひとりが誇りを持ち、働きがいのある病院をめざします

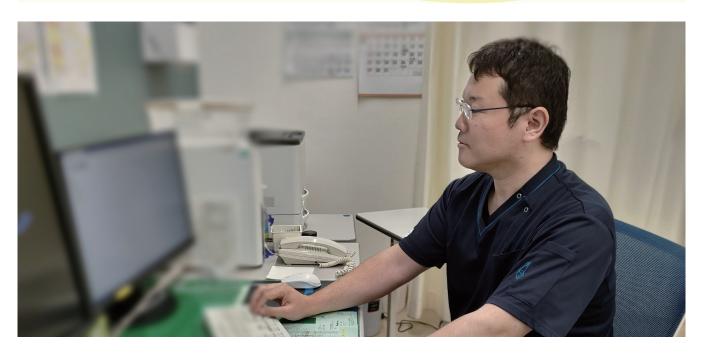
患者さんの権利

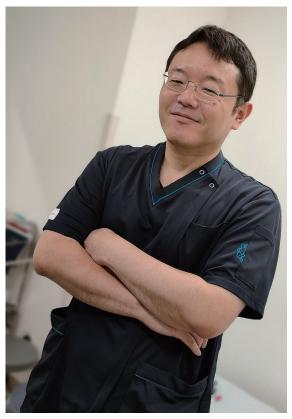
- 1. 良質かつ適正な医療を平等に受ける権利
- 2. 自己の病状や予後・治療の手順とその危険性および有益性・代替手段 についての十分な情報提供を受ける権利
- 3. 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
- 4. 意思に反する場合、情報を知らされない権利
- 5. 検査の諾否や治療法の選択について、自らが決定する権利

わたしたちは以下の患者さんの権利を守り、最善の医療を提供するように努めます。

- 6. いつでも自己の決定を取り消すことができる権利
- 7. 個人の医療情報に関するプライバシーが守られる権利
- 8. 健康教育を受ける権利
- 9. 人格や価値観が尊重され、尊厳を保って生を全うする権利
- 10. 小児患者さんの生きる権利、守られる権利、育つ権利、 参加する権利

脳神経外科の紹介





ささき でつま 脳神経外科 佐々木 哲郎

特技:空手・柔道(有段者)

好きな食べ物:お寿司

2023年7月より脳神経外科の常勤医として着任しました佐々木哲郎と申します。信州大学医学部脳神経外科学教室の関連施設で研鑽を重ねてきました。

私の専門分野の一つに脳血管内治療があり、カテーテルを用いて脳動脈瘤や頸動脈狭窄症などの治療を行います。また、神経内視鏡治療の経験も生かし、常勤医1名体制ではありますが、低侵襲治療を主軸として地域医療に貢献したいと考えています。

脳卒中などで痙縮(手足の筋肉の突っ張り)となる 患者さんを多く診ていたため、ボツリヌス療法が困難 な重症痙縮に対するバクロフェン髄注療法の手術を 2019年から行ってきました。痙縮による痛みや介護 負担が軽減される面からも優れた治療と考えてお り、手術の効果を予測できるスクリーニング検査も ありますので、どうぞお気軽にお問い合わせくださ い。

痛みの治療にも積極的に取り組み、一般的な頭痛診療のほか、四肢体幹の難治性疼痛に対する脊髄刺激療法や、末梢神経障害による痛み・しびれにも対応する予定です。片頭痛の予防薬として注目されている抗CGRP関連抗体薬や、脳脊髄液漏出症に対するブラッドパッチまで、さまざまな頭痛に対応可能であり、地域の頭痛専門外来としてご活用いただけるよう努めます。

3年ぶりに開催したすくすく教室

小児科医長 倉田 研児

まつもと医療センター小児科では、夏休み期間を利用して2泊3日の日程で、肥満度20%以上の小学3年生~6年生を対象に、栄養指導、運動指導、生活指導による肥満改善のための生活改善を目的に「すくすく教室」を開催しております。コロナ禍での諸事情で2021年、2022年は開催できませんでしたが、今年8月1日~3日に3年ぶりに開催することができました。

肥満の治療はモチベーションの継続が 一番重要と考えて日々診療しています が、小児科医師、看護師、管理栄養士、 理学療法士、児童指導員、臨床心理士な ど多職種のスタッフが協力して一人の患 児・家族に介入することで、診察室では 気付かないような事もフォローできるこ とが「すくすく教室」の強みです。参加 してくれたこども達が楽しみながら勉強 したり運動したりして、「楽しかった、 また来たい」と感想文を発表してくれる 姿を見て、日々の生活改善につながるき っかけをつかんでくれたかなと感じまし た。



載せるとカロリーや栄養素が画面に 映し出される機械を使って、健康的 な食事についても学びました。



行事報告

8月5日 松本ぼんぼんに参加しました

『第49回夏まつり松本ぼんぼん』 に参加して

松本市を代表する夏まつり『松本ぼんぼん』は、コロナの影響で令和元年から3年間開催を見合わせてき



ましたが、令和4年から再開され、令和5年度の連数や参加人数を見ると前年度よりも大幅に増加 しており、コロナ禍以前の盛況さを取り戻しつつあると思いました。

今回、私は副連長として、黄色いTシャツを着て連の乱れを修正しつつ片手には鈴を持ちテンションMAXで参加させていただきました。

ありがとうございました。

来年度は両手に団扇を持ち、法被を着て踊ることを楽しみにしています。 今後ともよろしくお願いいたします。

薬剤部長 寶福 誠



- adead ad



行事報告

8月10日 健康ハートの日に合わせてライトアップを行いました











2023.8.26-25 職員セミナーを開催しました



さる8月25日から一泊二日で、第1回職員セミナーを開催しました。セミナーのテーマは<経営>としいろいろな病院の収支や、松本医療圏の医療および社会情報から今後の課題を探り、共有することを目的としました。セミナー参加者、30名で、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士と多彩な職種が集まり、スタッフ(事務職+幹部)を入れると総勢42名になりました。初めての試みでしたが、終了後のアンケートでは、概ね好評でありました。準備、運営に関わったスタッフの皆さんありがとうございました。この研修が何らかの気づきのヒントになり、それぞれの職場で育っていってくれればいいと思います。

(院長)

市民公開講座を行いました





今年7月17日(月)に塩尻総合文化センターにおいて4年ぶりに市民公開講座を開催いたしました。最初に「もの忘れについて」をテーマとした信州大学医学部保健学科教授の上村智子先生と当院の武井洋一副院長による講演、続いて「フレイルについて」をテーマとした当院の植村一貴整形外科部長による講演を行いました。今回は、当院が今年2月に「健康増進、医療に関する連携協定」を締結した塩尻市にご協力いただいた効果もあり、約190名もの方々がご来場され、皆さんが熱心に講義に耳を傾けていただいて盛況のうちに終えることができました。ご来場の皆様へは心より感謝申し上げます。



いのちの終わりに ついて、 きずは自分事として



「いのちの終わりについて、まずは自分事として考える」と題し、愛光苑とよしな 施設長 岡村律子先生にご講演いただきました。松本市医師会の医療コーディネーターとして「松本市版リビングウィル」を中心となって作成された先生です。

ACP(人生会議)とは、死に方を問うものではなく、生き方を問うものであると考え、患者さんに寄り添っていきたいです。

私たち医療者も、「自分事として」考えるきっかけをいただきました。家族でも話し合う機会を 作り、さらに考えを深めていきたいと思います。

なごみ皮膚科クリニック



診療科目:皮膚科

所 在 地: 〒399-0026 長野県松本市寿中2-1568-1

休 診 日:水曜・日曜・祝祭日 お問い合わせ: TEL 0263-85-7530

飯島 みわ子 先生



<診療時間>

診療時間	月	火	水	木	金	土	
9:00 ~ 12:00	•	•	_	•	•		_
14:00 ~	~ 17:00	~ 17:30	ı	~ 17:30	~ 17:00	ı	1

- ※当院は予約以外は原則受付順で診察になります。
- ※初診時は予約はありません。再診時は月・火・木・金のみ窓□もしくは お電話で一部予約可能です。
- ※毎週木曜日の午後は手術、施術等の特殊外来で予約制です。
- ※土曜日は原則予約はありません。(再診で特別な処置が必要な場合、処置予約を入れる場合があります。)
- ※外来が混雑した場合、午前の受付終了時間が11:50より早くなる場合が ございます。

当院は令和元年5月に、松本市寿中に開院しました皮膚科クリニックです。

松本市の南部、田川にほど近い閑静な住宅地の一画にあります。

当院は 蕁麻疹、水虫をはじめ、皮膚科の一般診療をしておりますが、特ににきびの診療に力をいれております。保険診療の他、ケミカルピーリングや光線治療などの自費診療も行っております。クリニックの名前"なごみ"は 患者さんの気持ちに寄り添い、真心をこめて診察し、患者さんの不安が少しでも解消して、気持ちが和んで帰ってほしいという願いをこめてつけました。当院の合い言葉は天台宗の開祖伝教大師 最澄のお言葉"一隅を照らす"です。一人一人が自分の役割をしっかり果たすことで、社会全体が明るくなるという言葉で、院長が好きな言葉の一つです。当院は高度な医療はできませんが、地域の方々の皮膚の悩みの相談役や橋渡し役として"一隅を照らす"ことができるように誠心誠意頑張って参りたいと思っております。

なお、院長は幼少時より本を読むのが大好きで、開院当初より待合室に沢山の絵本を用意しました。コロナの影響でこの数年撤去しておりましたが、今年9月より絵本の設置を再開しました。絵本好きの方は是非いらしてください。

当院はまつもと医療センターにも近く、いつも大変お世話になっております。皮膚科をはじめ、 多くの科の先生方にお世話になっております。急病の患者さんの紹介にもいつも快く応じていただ き、大変ありがたく、深謝申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

73 53

<寄付について>

寄附をいただきありがとうございます。

堀 秀行様 赤羽 美津子様 松本中央ライオンズクラブ様

●今後の予定●

第13回登録医大会

*日にち 11月8日(水) <講演者(予定)>

*場所 アルピコプラザ

佐々木 哲郎 (脳神経外科)

宮尾 将文(外科)

10月7日(土)

病院祭

10月20日·21日

国立病院総合医学会

10月11日(水)

慰霊祭

12月2日

アルプス会





今回もまつもと医療センター広報誌をお読みいただきありがとう ございます。日が短くなり秋が近づいてきたな、と感じる今日この 頃です。暑さから解放されるのはうれしいですが、夕方早く暗くな るのは寂しさを感じてしまう私です。

さて、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、いろいろな秋がありますが皆さんはどの秋 を堪能されていますか?私はなんといっても食欲の秋です!長野県はフルーツが美味しい ので、ついつい食べ過ぎてしまいます。晩秋の紅葉や山の景色も楽しみです。まだ上高地 や千畳敷カールに行ったことがないので今年こそ行ってみようかな~と考えています。自 然豊かな長野の秋を楽しみたいと思います。

まつもと医療センター

第 52 号

令和5年10月発行

発行人 院長 小池 祥一郎

₹399-8701

長野県松本市村井町南2丁目20番30号 TEL.0263-58-4567 FAX.0263-86-3183

https://matsumoto.hosp.go.jp/